

# 公益財団法人 日本健康・栄養食品協会

## 複数品目

### 基本情報

対象国	米国・東南アジア	輸出額	845百万円/年	加盟者数	641社 (2024年12月)
主な販売先	小売	活動地域	複数地域	品目数	複数
希望スキーム	直接・間接輸出	備考	輸出額については輸出促進クラスター7社の実績を基に算出		

## 海外の認証制度・法規制を調査し、会員に共有する事で日本の健康食品の海外輸出を促進する

日本の健康食品(特に認定健康食品)に対する海外でのニーズの高まりを受け、日本健康・栄養食品協会が中心となって海外の認証制度の調査・整理を実施。勉強会等でノウハウを共有しながら、業界全体として健康食品の海外輸出を促進する。

### 団体概要

所在地 東京都新宿区

設立年 1985年

事業内容 健康食品の認定・認証事業、保健機能食品の申請・届出支援、適切な知識の普及啓発や調査研究など

認証取得 GMP認証等

生産規模 -



### 取組の経緯 / 概要

- 公益財団法人 日本健康・栄養食品協会は、健康食品業界の健全な発展を目指して、健康食品の認定事業（認定健康食品）、会員事業者の支援、消費者の啓発活動などを進めている
- 近年、認定取得事業者から、認定健康食品（GMP製品、JHFA製品）の海外展開に伴う英文証明書の発行依頼が増えており、日本の健康食品に対する海外ニーズが高まっている
- 日本の健康食品業界は、製造者・販売者等が別々の事業者であることが多いのに加えて、その規模が小さいものが多く、海外展開に関する知見が不足している状況である。製造者・販売者共に会員である日健栄協が中心となってクラスターを形成し、業界全体として健康食品の海外輸出促進に取り組む

### 取組の成果

- 輸出金額：920百万円（2024年度見込み）
- 勉強会の実施：勉強会を2回実施し、健康食品の輸出に係る知見をクラスター内で共有
- 英文資料作成：国内の健康食品認証制度の案内ツールを英文にて作成（2025年度以降に展示会等で活用予定）

# 取組のポイント

**国内外の健康食品の認証に関わる制度の調査、健康食品の輸出入に関する各地域の法規制の調査を実施**

## 輸出を進める上で抱えていた課題

TASK

課題

1

海外に於いては、日本の健康食品GMPの認知度が低く、認証を活かしきれていない

TASK

課題

2

海外で必要な製造管理の認証やヘルスクレーム表示の仕方が分からない

TASK

課題

3

健康食品の海外輸出に係る知見が限られており、また個別での対応が困難

## 輸出成功のポイント

他の認証との違いを明確にし、積極的に情報発信

健康食品GMPの認知度向上を目的とし、健康食品認証制度の英文資料・ツールを作成し、情報発信を行う

ターゲット国を定めて、専門家からも情報収集

FDA、ASEANなどを中心に、外部事業者とも連携し、健康食品の輸出に必要な各種認証制度および現状について調査を実施

定期的な勉強会を実施し、知見・ノウハウを共有

海外輸出に関わる基本情報について勉強会を開催。法規制、輸出時の手続き、地域による違いなどについて知見を共有

# サプライチェーン別取組

海外の健康ニーズを捉え、商品開発に活かす

- 各国で異なる健康ニーズを捉え、海外で効果的に訴求が可能な健康食品の開発に活かす

海外企業との接点を広げ、連携機会を増やす

- 健康食品はOEMでの供給も多く、海外パートナー企業との連携が重要である
- 展示会出展やビジネスマッチングの機会を有効活用する

展示会に出展し健康食品の訴求機会を得る

- 展示会に出展し日本の高品質な健康食品の訴求機会を得る
- 様々なヘルスベネフィットがあるなかで、より詳細なニーズを把握し適切な提案を行う

商品選定・開発

流通

販売

## 今後の輸出拡大に向けて

情報収集や勉強会といった2024年度実施した事業を継続し、日健栄協の知見を深め、会員企業と共有していくことで健康食品の輸出を促進していく。また2025年度には国際展示会への出展を目指し、より日本産健康食品の訴求にとって効果的な展示会を選定し参加する。対外的な情報発信については今年度作成した国内認証の英文資料を活用し、将来的な国際認証の取得を目指し、活動を継続していく。